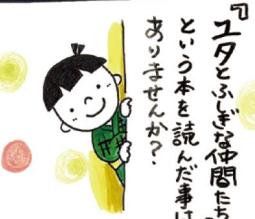


金田温泉郷新聞

マップに隠れている金田一温泉の宝を紹介します。①マークへたどり着くと、座敷わらしに会えるかも。

作品の舞ひのは金田一温泉郷



「ユタとふじかの仲間たち」という本を読んだ事はありませんか?

原作になら劇団まきのミュージカルを見た。という方も多くなった。昭和四十六年作家の三浦哲郎(みうら あきら)が、金田一温泉郷出身の父親から聞いた座敷わらし伝説をもとに、この旧人童向けの作品を書きました。

物語は、父親と海の事故で亡くなった勇太少年が、都会から母親の故郷に転校しきだいごが始まります。勇太は村の子どもたちから仲良しくもらぶるといつがたりやして、子の「ユタ」とはやせたぐられるほど仲間はずれになってしまいます。

そんな時、旅館「銀林荘」で働く寅吉(いんきち)に村の旧家に住む座敷わらしと友達にならみだらと勧められます。

ある満月の夜、ユタは銀林荘の離れに入浴することになりました。

その後、勇太は座敷わらしと一緒に、村の子どもたちとも仲良くなることになります。

だくましく成長していく座敷わらしは、作品の中に出でくる座

真・暗闇の中に本当に出たのです!! 騰ると思つたが大里(おほさと)柱の前に…

座敷わらしが…

ワダワダ(わだわだ)

アグロドヤ(あぐろどや)

ガガイ(ガガイ)

…おやあさん

座敷わらしは呪文(ゆづみ)

なま(世間(よの)大(お)きな音)

二回繰り返しました。

その後、勇太は座敷

わらしと遊んで、助け

られたしながら、村の子

どもたちとも仲良くなって

いたくましく成長していく座

敷わらしは、

作品の中に出でくる座

敷わらしは、

作品の中に出でくる座